

店舗ごとの協力金計算書

店舗No	1	店舗名	〇〇 〇〇
------	---	-----	-------

1 協力要請期間の協力内容にチェックしてください。

協力要請期間（9月13日～9月26日の14日間）の協力内容	
①営業時間及び②協力内容1・2については、すべてチェック（✓）が入る必要があります。 ※従前の営業時間が、5時から20時を超えていない場合は、協力金の支給対象外です。	
①営業時間	<input checked="" type="checkbox"/> 令和3年9月12日(日)以前から営業し、通常の営業終了時刻が20時を越えている
②協力内容1	<input checked="" type="checkbox"/> 要請期間中の全ての日において、営業時間を5時から20時までに短縮した。(通常、20時を越えて営業していた店舗が、期間中、要請を受け、終日休業した場合も含む)
②協力内容2	<input checked="" type="checkbox"/> 酒類の提供は19時までとした。(従前から提供していない場合を含む。)

2 以下のフロー図に基づき計算方法を選び、選択する「★申請額」の口をチェックしてください。

チェック

中小企業・個人事業主ですか

※中小企業・個人事業主とは
 飲食業については資本金の額または出資の総額が5,000万円以下の会社又は常時使用する従業員の総数が50人以下の会社及び個人。
 ただし、カラオケなどのサービス業については、資本金の額又は出資の総額が5,000万円以下の会社又は常時使用する従業員の数が100人以下の会社及び個人。



令和元年又は令和2年いずれかの9月の飲食業売上高合計額が約250万円(1日あたり83,333円)を超えていますか。

【売上高減少額方式】により算出してください
※第2期・様式第3号【売上高減少額方式】③で算定してください。



協力金支給額は1日あたり25,000円です。			
(要請日数)			★申請額
25,000円	×	14日	= 350,000円
<small>※飲食業売上高等を確認できる書類(確定申告書や売上台帳等)の提出は不要です。また、その他の協力金計算書(様式第3号②～③)の作成は不要です。</small>			<input checked="" type="checkbox"/> 上記内容で申請します <small>チェック</small>

↓ **はい**
↓ **いいえ**

令和元年又は令和2年いずれかの9月の飲食業売上高合計額が750万円(1日あたり25万円)を超えていますか

売上高減少額方式も選択可能です。
 選択した方式に対応する計算書により算出してください
※第2期・様式第3号【売上高減少額方式】③で算定してください。

↓ **いいえ**

【売上高方式】により算出してください

※第2期・様式第3号【売上高方式】②で算定してください。

こちらをチェックする場合、これで算定は終了です

①売上高方式（令和元年又は令和2年の9月の売上高の合計額が分かる場合）

令和元年又は2年の9月の売上高が、5,000,000円（飲食業のみ）の場合の例です。
（様式第3号【売上高方式】②を使用します。）

店舗ごとの協力金計算書(売上高方式)

※この様式は店舗ごとに作成してください。

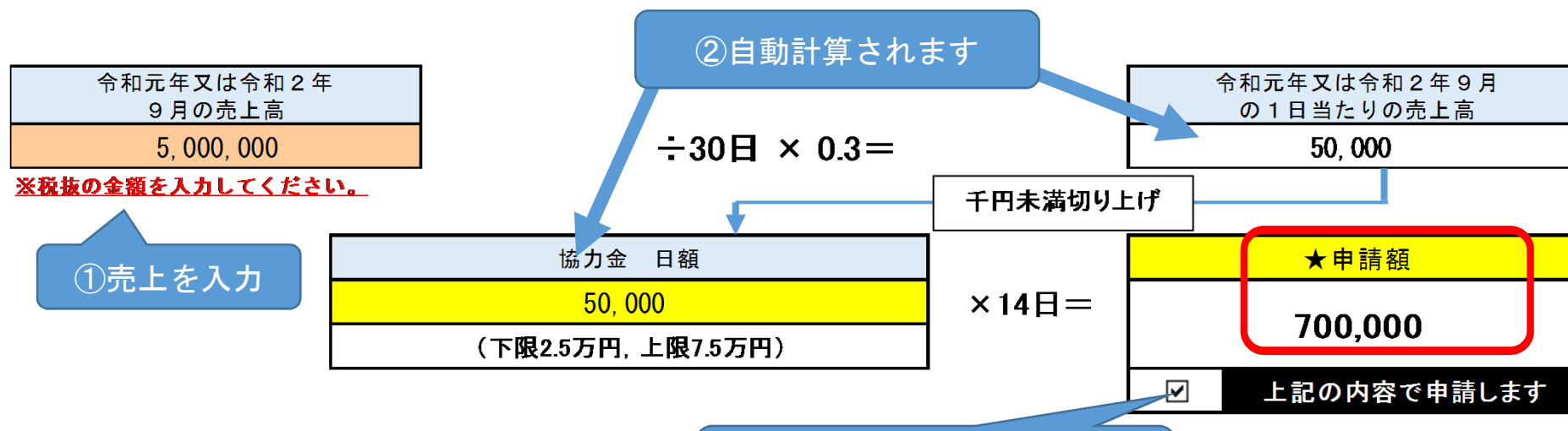
店舗No	店舗名
------	-----

（単位：円）

※選択する「★申請額」の口をチェックしてください。

①売上高方式（令和元年又は令和2年の9月の売上高の合計額が分かる場合）

次の計算式により、申請額を確定してください。



③チェックしてください
これで算定終了です。

②売上高方式

(新規店等令和元年又は令和2年の9月の売上高の合計額が存在しない場合)

開店日(令和2年10月1日)から昨年末(令和2年12月31日)までの売上高が8,000,000円の場合の例です。(様式第3号【売上高方式】②を使用します。)

記入例

②売上高方式(新規店等令和元年又は令和2年の9月の売上高の合計額が存在しない場合)

(1) 昨年(令和2年中に)開店した店舗

次の計算式により、申請額を確定してください。

※開店した日から昨年末(令和2年12月31日)までの1日当たりの売上高に応じて協力金の額を算定します。

開店した日 記入例「2020/10/1」	令和2年中の売上高	÷	92	日 × 0.3 =	令和2年中に開店した店舗の 協力金日額
2020/10/1	8,000,000				26,087
※開店日を入力してください。	※取扱の金額を入力してください。				
①開店日を入力	②売上を入力			千円未満切り上げ	
	協力金 日額				★申請額
	27,000			× 14日 =	378,000
	(下限2.5万円, 上限7.5万円)				<input checked="" type="checkbox"/> 上記の内容で申請します

③自動計算されます

④チェックしてください
これで算定終了です。

③売上高方式

(新規店等令和元年又は令和2年の9月の売上高の合計額が存在しない場合)

今年(令和3年中に)開店した店舗で、令和3年9月12日までの売上高が8,000,000円の場合の例です。(様式第3号【売上高方式】②を使用します。)

記入例

(2)今年(令和3年中に)開店した店舗

次の計算式により、申請額を確定してください。

※開店した日から要請期間前日(令和3年9月12日)までの1日当たりの売上高に応じて協力金の額を算定します。

開店した日 記入例「2021/4/1」	令和3年中の売上高	÷	165	日 × 0.3 =	令和3年中に開店した店舗の 協力金日額
2021/4/1	8,000,000				14,545
※開店日を入力してください。		※税抜の金額を入力してください。		千円未満切り上げ	
①開店日を入力		協力金 日額		× 14日 =	★申請額
		25,000			350,000
		(下限2.5万円, 上限7.5万円)			<input checked="" type="checkbox"/> 上記の内容で申請します

③自動計算されます

②要請の前日(8/29)までの売上高を入力

④チェックしてください
これで算定終了です。

④売上高方式

(令和元年又は令和2年の9月の売上高の合計額が分からない場合)

令和元年の売上高が32,000,000円の場合の例です。(様式第3号【売上高方式】②を使用します。)

記入例

③売上高方式 (令和元年又は令和2年の9月の売上高の合計額が分からない場合)

次の計算式により、申請額を確定してください。

令和元年又は令和2年の年額の売上高から1日当たりの売上高を算出し、協力金の額を算定します。

③自動計算
されます

令和元年又は令和2年 売上高の年額
32,000,000

÷ 365 日 × 0.3 =

令和元年又は令和2年 の1日当たりの売上高
26,302

※税抜の金額を入力してください。

※令和2年の場合は366日を選択してください。

①売上高を
入力 (令和元年)

協力金 日額
27,000
(下限2.5万円, 上限7.5万円)

千円未満切り上げ

× 14日 =

★申請額

378,000



上記の内容で申請します

②日数を選択

③自動計算
されます

④チェックしてください
これで算定終了です。

⑤売上高減少額方式（大企業 ※中小企業等も選択可能）

令和元年の9月の売上高の合計が15,000,000円、令和3年の9月の売上高の合計が2,000,000円場合の例です。（様式第3号【売上高減少額方式】③を使用します。）

記入例

①売上高減少額方式（大企業 ※中小企業等も選択可能）

次の計算式により、申請額を確定してください。

要請期間（9/12～9/26）

令和元年又は令和2年 9月の売上高
15,000,000

①売上高を入力（令和元年）
15,000,000円

令和3年 9月の売上高
2,000,000

②売上高を入力（令和3年）
2,000,000円

令和元年又は 令和2年9月の1日当 たりの売上高
500,000

令和3年9月 の1日当たりの売上高
66,667

÷ 30日 =

÷ 30

③その他の欄は
自動計算されます

令和元年又は令和2年9月 の1日当たりの売上高	
500,000	
①	150,000
(上限：20万円)	

【参考】
500,000 × 0.3
= 150,000
※千円未満切り上げ

令和3年9月 の1日当たりの売上高
66,667

1日当たりの売上高の減少額
433,333

1日当たりの飲食業売上高の減少額
433,333

× 0.4(千円未満切り上げ) =

売上高減少単価	
174,000	
②	174,000
(上限：20万円)	

協力金 日額
①、②いずれか低い額

④チェックしてくださいこれ
で算定終了です。

★申請額
2,100,000
<input checked="" type="checkbox"/> 上記の内容で申請します

⑥売上高減少額方式（大企業 ※中小企業等も選択可能） （新規店等令和元年又は令和2年の9月の売上高の合計額が存在しない場合）

令和2年10月1日に開店した店舗であって、令和2年中の売上高が9,000,000円、令和3年の9月の売上高の合計が2,000,000円場合の例です。（様式第3号【売上高減少額方式】③を使用します。）

**②売上高減少額方式（新規店等令和元年又は令和2年の9月の売上高の合計額が存在しない場合）
（大企業 ※中小企業等も選択可能）**
 次の計算式により、申請額を確定してください。

記入例

(1) 昨年（令和2年中に）開店した店舗

開店した日 記入例「2020/10/1」	令和2年中の売上高	÷	92	日＝
2020/10/1	9,000,000			

※開店日を入力してください。 ※税抜の金額を入力してください。

①開店日を入力

**②売上高を入力（令和2年）
9,000,000円**

**③売上高を入力（令和3年）
2,000,000円**

※開店日を入力してください。 ※税抜の金額を入力してください。

令和2年中又は令和3年中の1日当たりの売上高	－	令和3年9月の1日当たりの売上高	＝	1日当たりの売上高の減少額
97,826		66,667		31,159

× 0.4（千円未満切り上げ）＝

協力金 日額 <small>①、②いずれか低い額</small>	× 14日＝			
13,000 (上限：20万円)				

令和2年中に開店した店舗の1日あたりの売上高
97,826
① 30,000 (上限：20万円)
令和3年中に開店した店舗の1日あたりの売上高
①
(上限：20万円)

【参考】
 $97,826 \times 0.3 = 29347.8$
 $\rightarrow 30,000$
 ※千円未満切り上げ

令和3年9月の1日当たりの売上高
66,667
売上高減少単価
13,000
② 13,000 (上限：20万円)
★申請額 182,000
<input checked="" type="checkbox"/> 上記の内容で申請します

④その他の欄は自動計算されます

**⑤チェックしてください
これで算定終了です。**